

特集

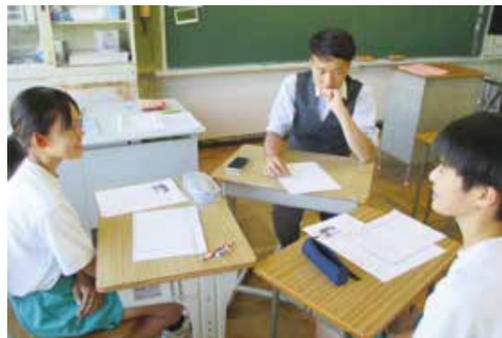
キャリア教育ってなに？

生きる力を育てる授業

世の中が目まぐるしく変化する今、生きる力の土台となるキャリア教育が全国的に注目されています。神栖市では平成30年度に「キャリア教育NEXT10」をスタートしました。今月は「いばらぎ教育月間」です。みなさんに教育に対する関心と理解を深めていただくため、今回は市内2つの中学校の取り組みを中心に紹介します。



打楽器のワークショップ(キャリア☆フェス神栖2023)



ディベート講座(波崎二中)

「自立して生きる力」を養う

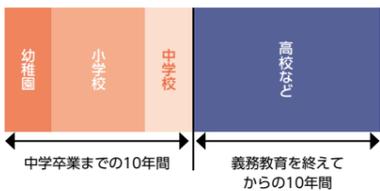
10年前には考えもしなかった最新テクノロジー、グローバル化、コロナ禍などによって、世の中は大きく変化しました。今の子どもたちが社会に巣立つ10年後には、いったいどうなっているのでしょうか？

このような変化の激しい現代社会で、子どもたちが自立して生きるために必要な力を養うのがキャリア教育です。神栖市の特徴は、幼稚園から中学卒業までの10年間、さらに義務教育を終えるからの10年間と、合計20年間にわたる長期的な視点で考えている点です。子どもたちが「何のために学ぶのか」「何をしたいのか」「どう生きたいのか」を意識し、将来の目標を持って学校生活を送る



キャリア☆フェス神栖では、神栖市ゆかりの企業や大学の協力を得たワークショップを楽しめる

神栖市のキャリア教育 [NEXT10]



ことができるよう取り組んでいます。今年8月には、かみす防災アリーナで「キャリア☆フェス神栖2023」が開催され、ワークショップや中学生キャリアサミットが実施されました。このサミットには市内中学8校の代表生徒が参加。各校のキャリア教育の取り組みを紹介し、さらなる発展に向けて話し合いました。

キャリア教育に決まった形はなく、学校によって内容はさまざま。今回は、神栖第四中学校と波崎第二中学校を訪問し、先生と生徒たちの声を聞いてきました。

神栖第四中学校の取り組み

神栖第四中学校が取り組んでいるのは、「かかわる力」「対応する力」「やり遂げる力」「見通す力」を育む

ことです。生徒会でも活躍した3年生たちに話を聞くと、それらの「力」が何度も出てきました。

起業体験

三浦旺典さんと三谷海榿さんは、起業体験について話してくれました。これは、生徒が物販や催し物などを企画し、そこで得た利益を募金するものです。今年は、地域への感謝を込めて神栖市に寄付しようと生徒たちで決めました。

三浦さんは、起業体験でやり遂げる力を身につけたいと考えたそうです。「僕が社長役をやって感じたのは、みんなと話をすることが大切です。意見が出るのを待つのではなく、こちらから声をかけたり質問したりして話しやすい雰囲気をつくりました。また、いきなりゴールを目指そうとせず、身近な目標を一つひとつクリアしながら進むことで、みんなが同じ方向を向くことができました」

三谷さんが意識したのは、「見通す力」です。「僕の役割はもぐらたたき課の課長。一番大切にしたのは全員で楽しむことです。もぐらたたきの手作りするときに、みんなの考え方が違うとうまくいきません。そこでまず完成形を全員でイメージし、



キャリア☆フェス神栖2023の一環として「中学生キャリアサミット」を開催。左から司会者(神栖一中生徒)と神栖一中、神栖二中、神栖三中、神栖四中、波崎一中、波崎二中、波崎三中、波崎四中の代表生徒



キャリア教育担当の新河先生(神栖四中)



左から神舎さん、三谷さん、三浦さん(神栖四中)